

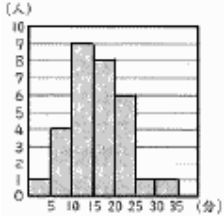
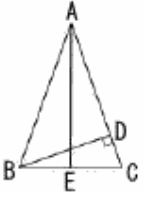




印刷して、紙の上でやってネ!

正しいものを、次のアからエまでのの中から一つ(7のみ二つ)選びなさい。

1	 $5-3 \times (-2)$ ア -4 イ -1 ウ 1 エ 11	7	正しく述べたものを二つ ア -5 の絶対値は5である。 イ 5 の絶対値は、 -6 の絶対値より大きい ウ 素数に素数をかけた数は素数である。 エ 15 以下の自然数のうち、素数は6個である。 オ $\sqrt{2}$ を小数で表すと、循環小数である。 カ 循環小数 $1.\overline{234}$ は無理数である。
2	 $4(3x-1)-2(5x-6)$ ア $2x-10$ イ $2x+8$ ウ $22x-10$ エ $22x+8$		
3	$(\sqrt{3}+\sqrt{2})^2+(\sqrt{3}-\sqrt{2})^2$ ア 6 イ $4\sqrt{6}$ ウ 10 エ $10+4\sqrt{6}$		ある中学校の生徒30人の通学時間を調べたところ、通学時間の平均値は16分であった。また、図は、その結果をヒストグラムで表したものである。 ただし、ヒストグラムの各階級の区間は、左側の数値を含み、右側の数値を含まないものとする。 これらからわかることについて
4	二次方程式 $x^2+6x+5=0$ の2つの解に、それぞれ3を加えた2つの数を解にもつ二次方程式 ア $x^2-4=0$ イ $x^2-x=0$ ウ $x^2-x-2=0$ エ $x^2-12x+32=0$	8	 ア 通学時間の中央値が含まれる階級は10分以上15分未満である。 イ 通学時間の最頻値は通学時間の平均値より大きい。 ウ 通学時間が20分以上25分未満の階級の相対度数は0.2である。 エ 通学時間の四分位範囲は15分である。
5	A,Bは関数 $y=\frac{12}{x}$ のグラフ上の点で、x座標がそれぞれ-2,4のとき、直線ABの傾き ア $-\frac{3}{2}$ イ $-\frac{2}{3}$ ウ $\frac{2}{3}$ エ $\frac{3}{2}$	9	$3\sqrt{11}$ より小さい自然数の個数 ア 9個 イ 10個 ウ 11個 エ 12個
6	2直線 $x-y=-2$, $5x-2y=2$ の交点を通る関数の式 ア $y=\frac{1}{2}x^2$ イ $y=x^2$ ウ $y=\frac{3}{2}x^2$ エ $y=2x^2$	10	図で、 $\triangle ABC$ は $AB=AC$ の二等辺三角形、Dは辺AC上の点で、 $DB \perp AC$ であり、Eは辺BCの中点である。 $AB=12\text{cm}$, $BC=8\text{cm}$ のとき、線分ADの長さ  ア $\frac{17}{2}\text{cm}$ イ $\frac{26}{3}\text{cm}$ ウ 9cm エ $\frac{28}{3}\text{cm}$